



# このゆびとまれ

3月25日  
発行  
文責  
多里まち協



令和2年度多里まちづくり推進協議会総会

とき 4月27日月曜日 18:30~20:00

ところ 多里地域振興センター

新型コロナウイルスが猛威を振るい、自治会総会後の懇親会まで自粛となるなど、日本中がひっそり息をひそめているように感じます。

令和2年度は、どんな年になるのでしょうか。今年度末5か年計画を作る作業を行い、いろいろな案が出ました。まち協が生まれて、そろそろ事業の見直しを行い、精査したり、融合したりが必要です。「守る意義」「辞める判断」「変える勇気」など機会や条件をとらえて話し合っていくことが、本当に必要になります。多里全体を見直すということは、多里全体のすべての団体を関連付けて考えていくことが必要になる時期に入ってきたのかもしれない。

まずは、総会からです。一昨年より同和教育推進協議会の総会も一緒になりました。自治会の同和教育推進員や民生委員・人権擁護委員の方々にもご案内を出しますので、ご参加ください。

最後に、30分~40分程度の人権全員研修も行ないます。

自治会を含めて、地域内の各団体やグループが一緒になって問題解決し、地域活性化を考える場が「多里まちづくり推進協議会」です

お誘いあわせて  
ご参加ください



**注意**

## 「災害から命を守る」~災害時避難を促す情報提供~

各自治会を通して、各家庭に避難所の情報や避難するときの持ち出し物のリスト、いつ避難したらいいのか?という避難レベルと行動をまとめたチラシが配布されます。ラミネート加工されたものです。**いつも見える場所に置いてください。**

**冷蔵庫に貼っておいても便利かもしれません。(上萩山自治会は少し配布遅れます)**

いつ、どんな行動をすればいいのか、皆さん一度ご確認ください。

ご近所さん同士声を掛け合うのも大切だと思います。

「早めに避難したけど、何事もなかったなあ。でも、よかったなあ。」

そう、ご近所さん同士笑いあえるほうがいいのではないのでしょうか。



## まちづくりの視察に行ってきました…2月24日 参加者 26名

- ①安来市 「ええひだカンパニー」…地域を法人化したコミュニティビジネス
- ②雲南市 入間コミュニティ協議会「カフェあいあい」…農家レストラン
- ③雲南市 波多コミュニティ協議会「波多マーケット」…住民出資のマイクロスーパー

朝7:30 出発多里着 18:00 と少しスケジュールが大変でしたが、研修的には勉強になる視察でした。

①「担い手不足」「つながり不足」→地域を法人化し、ビジネスの力で課題を解決。

「自分の代だけでいい…」この考え方→必ず地域は衰退する！…役職にとらわれず、地区を考えられる人に声をかけてプロジェクトを立ち上げ…行政マンも地域の力として大活躍！

子供から大人までの意見からビジョン作りはじめ事業に展開。(88ビジョン 15 達成)

②「農家レストラン」は、地域の女性グループ。管理栄養士による献立の豊富さ、見栄えのよさなどで人気があり、みんなで旅行に行ったり、おいしいものを食べに行ったりという楽しみもできる活動のようです。農家レストランを楽しみに、宿泊施設を利用される方々も多いようです。

③「波多マーケット」自治会がマーケットを開設。共助交通も利用して地域の方々が利用しておられました。高齢者の方々の「見守り」にも活用できているようでした。そのマーケットなんと、「キャッシュレス決済」でびっくりしました。(〇〇ペイや交通ICカードも使えました)「地域のお店、高くても維持のために協力されているのか…」と思えば、仕入れ先に工夫がされており、**案外普通のスーパーより安いものもあり、この方法は多里の様々な団体の見直しや新体制の提案として検討していただけるかも…と感じたところです。**

そして、改めて感じたことがありました。**多里地域の【NPO多里まちづくりサポートセンター】は先進的な取り組みだと再認識して帰りました。**3 地域とも公共交通の便利が悪くなり、軽自動車定期バスを受けてサポートしておられましたが、体制としても運営方法としても多里地域の取り組みは、素晴らしいものだと感じました。それを支えておられる多里地域の皆様の意識の高さによるものだと強く感じました。そしてこの取り組みは、行政から準備され示されたものではなく、住民参画の話し合い、取り組みから生まれたものだと思うと、さらに今後頑張る力に変わっていけると感じました。**多里ってすごいですよ！！**

地域外に学びに行き、頑張る元気とヒントを貰い、多里のすばらしさにも気づくことのできた1日でした。

## 多里はんざけを守る会が表彰！…2月16日



オオサンショウウオの保護活動を毎年続けておられる「多里はんざけを守る会」が、鳥取県西部市町村社会教育協議会より表彰されました。これは、天然記念物オオサンショウウオ



の生態について知識を深めながら、地道に毎年続けてこられた良好な生息環境を守る活動が認められたものです。

毎年の川掃除のときには観察会も行っています。

2月には、「よもやま話」を行い、専門家だけでなく小学生の観察発表など気軽に参加できる機会も設けています。

是非皆様一度足を運んでみてください。